

1. 科目名 (単位数)	日本語学史 (2単位)	3. 科目番号	EJJP2142
2. 授業担当教員	佐藤 仁美		
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	日本の歴史に沿って、日本語がどのように研究されてきたのか、主に明治以前と以降に分けて学ぶ。また、日本語学史の発展は日本語教育と密接な関係にある(西洋人の日本語学習から貴重な文献が残されている(ロドリゲス著(1604-08『日本大文典』)など))ことから、日本語教育史についても取り上げる。		
8. 学習目標	1) 日本語学史の時代区分が概観できる。 2) 日本語学史の時代区分に沿ってどのような研究が行われたか、理解できる。 3) 日本語学史において西洋の影響について概観できる。 4) 日本語教育史の時代区分がわかる。 5) 日本語学史と日本語教育史はどのような関係にあるのか、理解できる。		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	・毎回授業でワークシートを配布する。次の授業時に提出すること。ワークシートの内容は、主にその回の授業で学んだことの要点をまとめるものである。 ・期末試験レポート:「日本語学史」と「日本語教育史」の略年表を書きなさい。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 使用しない。毎回の授業で資料を配布する。 【参考書】 衣畑智秀編『基礎日本語学』ひつじ書房、2019。 遠藤織枝編『日本語教育を学ぶ 第二版』三修社、2011。 国語学会編『国語学資料集一図録と解説』武蔵野書院、1979。 高見澤孟監修『新・はじめての日本語教育1 増補改訂版』アスク出版、2016。 日本語教育学会編『新版 日本語教育事典』大修館書店、2005。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 時代に沿って日本語学史の特徴が理解できたか。 2. 日本語学史と日本語教育史の影響が理解できたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への出席・参加態度 総合点の30% 2 期末試験(レポート) 総合点の30% 3 提出課題(ワークシート・発表) 総合点の40% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	言語は人々の営みと共にあり、政治や社会、文化などと深く関わりながら変遷してきた。その中で、日本語を科学的に捉え「日本語学」として研究する学問の歴史について学ぶ。いわゆる「暗記する歴史」ではなく、資料を読み、歴史を考え学んでいく。 なぜ日本語学史を学ぶのか、なぜ日本語教育史を学ぶのか、その歴史を学ぶことは自分自身の今と未来にとってどのような意味があるのか。このことを常に問いながら共に学んでいきたい。		
13. オフィスアワー	初回授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 「日本語学史」「日本語教育史」とは 「日本語学史」「日本語教育史」の時代区分	事前学習	日本史の時代がどのように区分されているか確認する。 日本史と世界史の年表を大まかに見比べる。
		事後学習	配布資料を読み直し、「日本語学史」と「日本語教育史」の関係について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第2回	「日本語学史」古代・中世 辞書の編纂 古典解釈と言語研究 定家仮名遣いの意味 歌学秘伝とテニヲハ論	事前学習	日本史の「中世・古代」について、日本事情と世界事情を概観する。
		事後学習	配布資料を読み直し、「日本語史」古代・中世について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第3回	「日本語学史」近世 歌学秘伝の公開 国学者の言語研究 契沖 →契沖の仮名遣い説と歴史的仮名遣い	事前学習	日本史の「近世」について、日本事情と世界事情を概観する。
		事後学習	配布資料を読み直し、「日本語学史」近世について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第4回	「日本語学史」近世 賀茂真淵 富士谷成章 本居宣長 鈴屋門下の言語研究	事前学習	古典文法と現代日本語文法の基礎用語について調べる。(例:「品詞」「活用」「係り結び」など)
		事後学習	配布資料を読み直し、「日本語学史」近世の国学者による言語研究について理解を深め、ワークシートを完成させる。

第5回	「日本語学史」近世後期 近世後期の言語研究 活用研究の精緻化 辞書の編纂 音義言霊派	事前学習	日本史の「近世後期」について、日本事情と世界事情を概観する。
		事後学習	配布資料を読み直し、「日本語学史」近世後期について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第6回	「日本語学史」近代 西洋言語学の流入と「国語学」の成立 音声・音韻、文字研究 大槻文彦 山田孝雄 松下大三郎	事前学習	日本史の「近代」について、日本事情と世界事情を概観する。
		事後学習	配布資料を読み直し、「日本語学史」近代の国語学の成立、音声・音韻、文字、文法研究について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第7回	「日本語学史」近代 文法研究 橋本新吉 時枝誠記 口語（現代語）文法研究への流れ 語彙・方言研究	事前学習	配布資料を読み「日本語学史」近代の文法研究の変遷について、要点を理解する。
		事後学習	配布資料を読み直し、「日本語学史」近代の文法研究、語彙・方言研究について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第8回	「日本語学史」近代 外国語としての日本語研究 キリシタン宣教師 ヨーロッパ東洋学・日本学 幕末・明治期の宣教師・外交官 中国・朝鮮における日本語研究	事前学習	配布資料を読み「日本語学史」近代の外国語としての日本語教育について、要点を理解する。
		事後学習	配布資料を読み直し、「日本語学史」近代の外国語としての日本語研究について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第9回	「日本語学史」まとめと復習	事前学習	これまでのワークシートを見直し、日本語学史の流れと要点を復習する。
		事後学習	配布資料を読み直し、これまでのワークシートを参照しながら「日本語学史」の復習を行う。
第10回	「日本語教育史」 「日本語学習」から「日本語教育」へ 侵略戦争と日本語教育 台湾における日本語教育 朝鮮半島における日本語教育 「満州国」における日本語教育 「南洋群島」における日本語教育	事前学習	配布資料を読み「日本語教育史」の大まかな流れを概観する。
		事後学習	配布資料を読み直し、日本語教育の「日本語学習期」から「国語（日本語）教育期」への変遷について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第11回	「日本語教育史」 侵略戦争と日本語教育 日本国内の留学生に対する日本語教育 第二次世界大戦下の中国および東南アジアにおける日本語教育 アメリカ合衆国とイギリスにおける戦時下日本語教育 日系人の継承語教育	事前学習	配布資料を読み、明治期以降の「日本語（国語）教育」期の日本語教育と、日系人の継承語教育について概観する。
		事後学習	配布資料を読み直し、明治期以降の日本語教育と日系人の継承語教育について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第12回	「日本語教育史」 1945年以降の日本語教育 戦後の日本国内における日本語教育 戦後の海外における日本語教育 日本語教育の拡大と多様化 入管法改正以降の日本語教育	事前学習	配布資料を読み、1945年以降の日本語教育史について概観する。
		事後学習	配布資料を読み直し、1945年以降の日本語教育史について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第13回	「日本語教育史」 学習者の多様化 中国帰国者とインドシナ難民 日本語を母語としない子どもたち サブマージョン環境 少子高齢化と外国人労働者 共生社会	事前学習	配布資料を読み、日本語教育における学習者の多様化について概観する。
		事後学習	配布資料を読み直し、日本語教育における学習者の多様化について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第14回	「日本語教育史」まとめと復習	事前学習	これまでのワークシートを見直し、日本語教育史の流れと要点を復習する。
		事後学習	配布資料を読み直し、これまでのワークシートを参照しながら「日本語教育史」の復習を行う。
第15回	「日本語学史」「日本語教育史」要点整理 近年の日本語学と日本語教育学	事前学習	これまでの「日本語学史」と「日本語教育史」について、配布資料を参照しながらワークシートを見直す。
		事後学習	配布資料とワークシートを読み直し、「日本語学史」と「日本語教育史」の要点について理解を深める。

